

相生市職員 フィロソフィ

～いのち輝き 絆ひろがる あいのまち～



兵庫県相生市

「相生市職員フィロソフィ」

～ いのち輝き 絆ひろがる あいのまち ～

「相生市職員フィロソフィ」は、私たちが子供の頃から、言われ、育まれてきた明るさ・礼儀正しさ・謙虚さ・公平さ・正義感・優しさ・思いやりなど、仕事をするうえで大切なことを取りまとめたものです。

「一度しかない人生」を充実した幸せなものにするために、このフィロソフィを心にとめ、ともに成長していきましょう。

令和6年9月1日

相生市長 **谷口 芳紀**

目 次

住民福祉向上に向けて職務に取り組むための心得 11 カ条

1	あいさつを全ての基本に.....	1
2	素直な心で.....	1
3	感謝の気持ちを忘れずに.....	1
4	謙虚にしておごらず.....	2
5	公明正大に.....	2
6	和を尊び、寛容に.....	2
7	くよくよせずに 前向きに.....	3
8	熱意を持って、一生懸命に.....	3
9	地道に努力を積み重ね、真面目に.....	3
10	運動する習慣を身につけ、健やかに.....	4
11	笑顔で明るく.....	4

1 あいさつを全ての基本に

あいさつは単なる日常習慣を超え、人とのつながりを深める大切なコミュニケーションの初めの一歩です。

「あいさつは、会話の扉を開く鍵」という名言があるように、「おはよう」と一言言うだけで、相手への思いやりと一日の始まりへの前向きな気持ちを伝えることができます。また、「お疲れ様」や「ありがとう」といった言葉には、感謝の気持ちや相手を思う心が込められており、これらのあいさつは人間関係をより豊かにします。特に辛い時や疲れた時にかかる励ましの言葉は、大きな支えとなり得ます。

あいさつすることは、心を開き、相手を尊重することです。心を込めて、あいさつをしましょう。

2 素直な心で

人は、自分の感情、立場や地位にとらわれることがあります。そうしてねじれたりゆがんだり素直になれない心があると、相手の話を受け入れることができません。

素直な心をもって、人の意見をよく聞き、常に反省し、自分自身を見つめることで自分自身を大きな成長へとつなげることができます。素直な心でいることが幸せをもたらし、物事をうまく運んでいくと前向きに受け取りましょう。

3 感謝の気持ちを忘れずに

人は自分一人では生きていけません。家族や周囲の人たち、さらには社会など、自分を取り巻くあらゆるものに支えられて生きています。生かされていることに感謝し、そのことに幸せを感じる心によって、人生を豊かで潤いのあるものに変えていくことができます。

不平不満を持って生きるのではなく、今あることに素直に感謝し、それを周囲の人たちに伝えましょう。そのことが、自分だけでなく、周りの人たちの心も和ませ、幸せな気持ちにしてくれます。

4 謙虚にしておごらず

中国の古典に「ただ謙のみ福を受く」という言葉があります。人は謙虚にして初めて幸福を受けることができるという意味です。

考えが合わなかったり、意見が対立したり、自分にとって耳の痛い言葉を聞くこともあるでしょう。それぞれの置かれた立場や状況により、異なる主張となつたとしても、常に相手を尊重し、誰に対しても敬意を持って接するとともに、周囲の言葉は自分を伸ばしてくれるものだと謙虚に受け止めることが大切です。

5 公明正大に

日常生活においては、当然、社会の規範や秩序を守らなければなりません。自分の利益を優先し、ルール違反やごまかしが許されるという考えは、モラルの低下を引き起こし、悪影響を及ぼすことになってしまいます。

私心にとらわれず公平に、そして、良心に恥じることなく正しく活動を進めていくことで、振る舞いが堂々となったり、意欲的な姿勢になったり、よい効果につながります。常に誠実でフェアプレーに徹した行動を心がけましょう。

6 和を尊び、寛容に

人はお互いに仲良くすることが大切です。争いを極力避け、平和を愛するという精神を大事にすることで、人間関係を円滑にすることができます。

和とは単なる同調や妥協ではなく、調和であり話し合いの精神と言えるものです。個人には自由があることを認め、それを求めることに対して寛容であること、相手を尊重し、助け合う思いやりを持つこと、これらの態度によって実現されます。

そうして生み出される一人ひとりの力を合わせ、チームワークを高めることで、より大きな成果を生み出すことができます。多様な意見、多様な個性を活かし、お互いが協力し合うことが大切です。

7 くよくよせずに 前向きに

人生では、誰でも失敗をしますし、間違いを起こします。しかし、そうした過失を繰り返しながら人は成長していくものです。失敗をしても悔やみ続ける必要はありません。

自分のどこが悪かったのかは反省しなければなりません。十分に反省した後、くよくよせずに新しい道を歩み始めることが大切です。済んだことに対して、いつまでも悩み、心労を重ねるのではなく、理性で考え、新たな行動に移しましょう。そうすることが、すばらしい人生を切り拓いていくのです。

8 熱意を持って、一生懸命に

物事に取り組む場合、漫然とこなすよりも、熱意を持って自ら考え、誠実に一生懸命に取り組むことにより充実感を得ることができます。目標に向かって打ち込み、何かを成し遂げた時には、他には代えがたい喜びと充実感を得られるでしょう。

充実感を得ることは人生を豊かにします。家族や地域の活動においても同じように取り組むことで、充実感は大きくなり、人生の喜びも増します。

9 地道に努力を積み重ね、真面目に

偉大なことは最初からできるのではなく、地味な努力の一步一步の積み重ねがあっただけでできるものです。

叶えたい夢や達成したい目標に対して、なるべく早く、より効率的に進みたいと誰しもが感じることでしょう。しかし、どのような事であっても、すばらしい成果を見出すまでには、一見地味で単純と思われるようなことをしなければなりません。その地道な努力が自分自身の自信にもつながり、成長をもたらしてくれます。

だからこそ結果だけにこだわるのではなく、結果を起こすに至った過程やそのための努力を一つの成果と捉え、地道な努力を楽しみ、自分の成長につなげていきましょう。

10 運動する習慣を身につけ、健やかに

運動することは、心肺機能や筋力の向上のほか、体脂肪の減少や生活習慣病の予防などさまざまな身体への健康効果をもたらしてくれます。また、身体面だけでなく、精神面にも大きな効果をもたらすと高く評価されています。

運動によって気分が高揚したり、スッキリ感を覚えたという経験がありませんか。体を動かすと交感神経が活発化し、ストレスや落ち込んだ気分を発散させたり、こころと体をリラックスさせたり、心にもたくさんの良い影響をもたらします。

少し落ち込んだ気分ときは、身体を動かしてみてください。散歩をしたり、体操をしたりするだけで、気分が晴れやかになるはずです。

11 笑顔で明るく

自分の未来に希望をいだって明るく積極的に行動することは、人生をより良くすることにつながります。

日々の生活の中で不安や悩みから暗い気持ちになることはありますが、不平不満を言ったり、人を恨んだり、妬んだりしては物事はいい方向に動きません。いつも「自分には輝かしい未来がある」と思い続け、明るい心を持つことが大切です。

そのために、まずは笑顔を心がけましょう。笑顔になると、人は明るい気持ちになり、「心の余裕」や「やる気」が出ます。前向きな姿勢で物ごとに向き合えるので、いい結果が出やすくなります。さらに、周囲の人たちにも安心感や一体感が生まれ、よい環境ができやすくなります。

相生市職員フィロソフィ
～いのち輝き 絆ひろがる あいのまち～

令和6年9月1日 作成
〒678-8585
兵庫県相生市旭一丁目1番3号
相生市企画総務部総務課
